

【著者紹介】

弓倉智子 YUMIKURA Tomoko

平面デザイン作家

「たわみ、布、その曖昧な表面」(天理ビエンナーレ1998(大阪市美術館ほか)、1998現代日本美術展(東京都美術館、京都市美術館))。アマノ画廊(大阪)・ギャラリーマロニエ(京都)・ギャラリーMOCA(名古屋)を中心に活動。

高江洲昌哉 TAKAESU Masaya

神奈川大学等非常勤講師
日本近代史

『近代日本の地方統治と「島嶼」、ゆみに書房、2009年』／『近代日本の「文化統合」と周辺地域』、『大原社会問題研究所雑誌』679号、2015年／『日本「内地」における島庁の設置と植民地における島庁の設置』、『アーカイブズ学研究』22号、2015年

池内敏 IKEUCHI Satoshi

名古屋大学文学研究科
日本近世史、近世日朝関係史

『竹島 もうひとつの日韓関係史』中公新書2359、2016年1月／『祝官使考』『名古屋大学文学部研究論集』史学62、2016年3月

河西秀哉 KAWANISHI Hideya

神戸女学院大学文学部総合文化学科
日本近現代史

『象徴天皇の戦後史』講談社選書メチエ、2010年／『皇居の近現代史』吉川弘文館、2015年／『戦後史のなかの象徴天皇制』(編著)吉田書店、2013年

坪井秀人 TSUBOI Hideto

国際日本文化研究センター
日本近代文学・文化史

『感覚の近代——声・身体・表象——』名古屋大学出版会、2006年／『性が語る 20世紀日本文学の性と身体』名古屋大学出版会、2012年／『二十世紀日本語詩を思い出す』(連載①～⑩) 2015年～2016年『現代詩手帖』第58巻第4号～第59巻第3号、思潮社(継続中)

日比嘉高 HIBI Yoshitaka

名古屋大学大学院文学研究科
日本近現代文学・文化論、出版文化

『ジャパニーズ・アメリカ——移民文学、出版文化、収容所』新曜社、2014年／『自己表象』の文学史——自分を書く小説の登場』翰林書房、2002年／『朝鮮半島における日本語書店の展開——戦前外地の書物流通(1)』『跨境 日本語学研究』第1号、2014年6月ほか。

木部和昭 KIBE Kazuaki

山口大学経済学部
日本近世史、日本経済史

『環日本海と漂流民』『日本海域歴史大系・第四巻・近世篇Ⅰ』清文堂、2005年／『近世対馬沿岸の漁業に見る漁場と国境～対馬藩の西目持規制と朝鮮海密漁～』東アジア近代史16号、2013年

福原裕二 FUKUHARA Yuji

島根県立大学総合政策学部／大学院北東アジア開発研究科
北東アジア国際関係史、朝鮮半島地域研究

『たけしまに暮らした日本人たち』風響社、2013年／『現代アジアの女性たち』新水社、2014年／『北東アジアと朝鮮半島研究』国際書院、2015年

暢雁 CHANG Yan

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
日本近現代文学

高橋梓 TAKAHASHI Azusa

東京外国語大学大学院博士後期課程
朝鮮文学

『金史良の二言語作品における表現の差異をめぐる考察——「留置場で会った男(留置場에서만난사나이)」(朝鮮語)、『Q伯爵』(日本語)を中心に』『言語・地域文化研究』第20号、東京外国語大学大学院、2014年1月／『「反復」と「差異」——1940年代前半期における植民地の「国民文学」』尹大石『植民地国民文学論』を読む』『Quadrante～クアドランテ[四分儀]～地域・文化・位置のための総合雑誌』第15号、東京外国語大学海外事情研究所、2013年3月／ソ・ジヨン『京城のモダンガール——消費・労働・ジェンダーから見た植民地近代(仮題)』姜信子監訳、高橋梓訳、みずす書房、2016年刊行予定

金ヨンロン KIM Younglong

東京大学総合文化研究科
日本文学

『(特集・発禁・検閲・自主規制)治安維持法体制下における中野重治の転向五部作と伏字問題——「小説の書けぬ小説家」を中心に——』、『日本文学』、2015年11月／『文学テキストと(歴史的)時間——太宰治「冬の花火」から「斜陽」へ』、『言語態』、2015年3月／『閉ざされていく「幽閉」の可能性——井伏鱒二「幽閉」から「山椒魚」への改稿問題を中心に——』、『日本文学』、2014年9月

今井瞳良 IMAI Tsubura

大栄産業株式会社
映画研究

中根若恵 NAKANE Wakae

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程前期課程
映画学

王静 WANG Jing

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程
日本現代文学

『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』における〈記憶〉の
発見—(街)から〈世界の終り〉へ— / 『名古屋大学国語文学』107号、
2014年11月

寺尾麻里 TERAU Mari

青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程
日本中世文学

『連歌付合論の修辭法』、『青山語文』45号、青山学院大学日本文学会、
2015年 / 『連歌八十体之書』考—二条良基と宗祇仮託書を繋ぐも
の—、『連歌俳諧研究』128号、俳文学会、2015年

朱宇正 JOO Woojeong

名古屋大学文学研究科
映画学

‘Rethinking Noriko: marriage narrative as historical allegory
in Ozu Yasujiro’s The Moon Has Risen and other Occupa-
tion-era films’, *Screen* 2015 56 (3): 335–356

中川智寛 NAKAGAWA Tomohiro

福井大学教育地域科学部
(改組により、2016年4月より、福井大学教育学部)
日本近現代文学、社会文化史

『四人称』の設定とその成否—横光利一「紋章」とその続編につい
て—、『近代文学論集』35号、日本近代文学会九州支部、2009年 /
『泉鏡花「外科室」論』、『あいち国文』7号、あいち国文の会、2013年 /
『川端康成「川のある下町の話」論』、『福井大学教育地域科学部紀要』
6号、2016年

広瀬友則 HIROSE Tomonori

名古屋大学大学院文学研究科
近代日本文学

秋庭史典 Fuminori Akiba

名古屋大学情報文化学部・大学院情報科学研究科
美学・芸術学

『あたらしい美学をつくる』みすず書房、2011年 / Comparison of
Tactile Score with Some Prescriptions in Artworks, Recent
Advances in Natural Computing, Springer, 2015, pp.71–79

馬定延 MA Jung-Yeon

東京藝術大学大学院映像研究科・国立新美術館
映像メディア学

『日本メディアアート史』アルテスパブリッシング、2014年 / 「さようなら、
コンピュータアート 榎屋治紀インタビュー」『東京藝術大学大学院
映像研究科紀要 LOOP』Vol.5、2015年 / 「クワクポリョウタ准教授
インタビュー」『情報科学芸術大学院大学紀要』第5巻、2014年

松田愛 MATSUDA Ai

富山大学芸術文化学部
近現代美術史、アート・マネジメント

「エコとコラボレーションをめぐって」『名古屋大学教養教育院プロ
ジェクトギャラリー「clas」アニュアル 2014』名古屋大学教養教育院
プロジェクトギャラリー「clas」、pp.103–105、2015年 / 「THE ECHO
の潜在性」『THE ECHO』展カタログ、THE ECHO実行委員会、magical,
ARTROOM発行、pp.78–79、2010年

張政傑 CHANG Cheng-Chieh

名古屋大学大学院文学研究科 博士課程後期課程
日本近現代文学、60年代学生運動